

5 東葉高速線地域の課題整理

5 - 1 東葉高速線地域の課題

東葉高速線地域の課題は、これまでの現況整理結果、利用者ニーズ等を踏まえると、次のように考えられる。

(1) 現況整理からの課題

沿線人口増加率の鈍化・高齢化の進展による東葉高速線利用者の停滞の危機

沿線人口は、東葉高速線開業後、年々増加傾向にあったが、年々その増加率は鈍化している。また、駅勢圏の高齢化率は年々増加傾向にあり、駅勢圏全体で平成 19 年度 17.5% となっている。特に、東葉勝田台駅では高齢化率が 29.2% と非常に高くなっており、このまま看過すれば、東葉高速線の利用者の大幅な増加は見込まれないことが危惧される。

そのため、沿線地域での開発の促進などによる新たな交通需要を創造するとともに、利用者や沿線地域のニーズに対応した新たな交通サービスを提供することが重要と考えられる。

他路線競合地域での駅勢圏の拡大

平成 17 年大都市交通センサスの居住地別の利用路線割合をみると、東葉高速線の北側は比較的用户が多く、駅勢圏も広がっている。一方、南側は京成本線、ＪＲ線等との競合による影響により、駅勢圏が小さくなっている。中でも、東葉高速線の駅が近いにもかかわらず、東葉高速線の駅へのアクセスバス路線が脆弱な、飯山満駅周辺地区、八千代緑が丘駅の南側地区等では、京成本線やＪＲ線に多くの利用者が流れている。

また、東海神駅、飯山満駅周辺等、東葉高速線の駅へのアクセス道路網が脆弱で交通拠点として十分に機能を活かしきれていない地域もある。

そのため、このような地域において、東葉高速線の駅へのアクセス道路網の整備や駅への路線バス等の強化が必要と考えられる。

駅周辺施設（駐輪場、駐車場等）の整備、改善

駅周辺施設の整備状況は、駐輪場に関しては、全ての駅で公共駐輪場が整備され、駐車場に関しては、民営駐車場が何箇所もある状況である。しかし、駅によって整備状況は異なり、駅へのアクセス向上のためには、駅周辺施設（駐輪場、駐車場等）の整備、改善も重要である。

また、利用者ニーズでは、駐輪場、駐車場等の駅周辺施設の整備は、駅によって要望の高い駅もみられた。特に駐輪場に関しては、駅までの交通手段が徒歩に次いで自転車が多い状況から、駐輪場の整備、改善は重要な課題といえる。利用者ニーズで「駐輪場の改善」の要望が高かった駅は、船橋日大前駅、東海神駅となっており、「駐車場整備」に関しては、飯山満駅、八千代中央駅となっている。

（２）利用者ニーズからの課題

運賃割高感の軽減の必要性

利用者の運賃に対する満足度は、約 96%が不満と回答しており、他路線と比べて運賃が割高なことに関する不満が多くなっている。また利用者ニーズで、最も望むサービスが「運賃を安くする」になっており、利用者の運賃割高感の軽減が課題といえる。

企画乗車券のPR不足

運賃の低減化への要望の他には、企画乗車券に対する要望も高く、特に大型SC来店者は、「店舗と連携した割引サービス」、「家族・グループ等、複数人数での割引サービス」等の要望が高くなっている。現在ある企画乗車券の認知状況は沿線住民で6割程度であり、更なるPR等が必要といえる。企画乗車券を利用した人の利用回数は、2回以上が半数を超えており、リピーターもみられ、大型SC来店者の中には、企画乗車券があったために東葉高速線を利用したという人もいた。このように、企画乗車券に対するニーズは高く、現在ある企画乗車券の利用者はリピーターがみられるなどの状況であるが、認知度が低いというのが課題であり、今後PR活動の拡充が必要といえる。

運行間隔、運行本数の見直しの必要性

運行本数の増加に対する要望は、運賃の次に高くなっており、利用頻度が高い利用者は、平日朝夜の運行本数の増加、利用頻度が低い利用者は、平日昼間の運行本数の増加、また大型SC来店者は、休日の運行本数の増加となっている。利用者、利用頻度によって要望は異なるが、運行間隔、運行本数の見直しの必要性があるといえる。

駅施設整備・バリアフリー整備の遅れ

利用者ニーズにおいて、運賃、運行本数の次に高い要望として、「バリアフリー整備」があげられている。(ここでいうバリアフリーとは、エレベータ以外のエスカレータ等を含む、駅施設全般を指している。)その中でも特に、エレベータの設置に対する要望が高く、東葉高速線を利用しない理由の中で「エレベータがないため」という意見もみられた。

駅別では、東葉勝田台駅、八千代緑が丘駅、飯山満駅の順で要望が高くなっている。また沿線地域の高齢化率も年々増加しており、特に東葉勝田台駅、船橋日大前駅で高齢化率が増加傾向にあり、エレベータの設置は重要といえる。更に、エスカレータに関しては、降り方向の設置に対する高齢者の要望が高く、上下方向のエスカレータの設置も課題といえる。

エレベータ、エスカレータ以外では、「待ち時間の快適性」の満足度が4割程度であり、待合室等の整備も望まれる。特に、船橋日大前駅、北習志野駅、東海神駅で利用者の満足度が低くなっている。

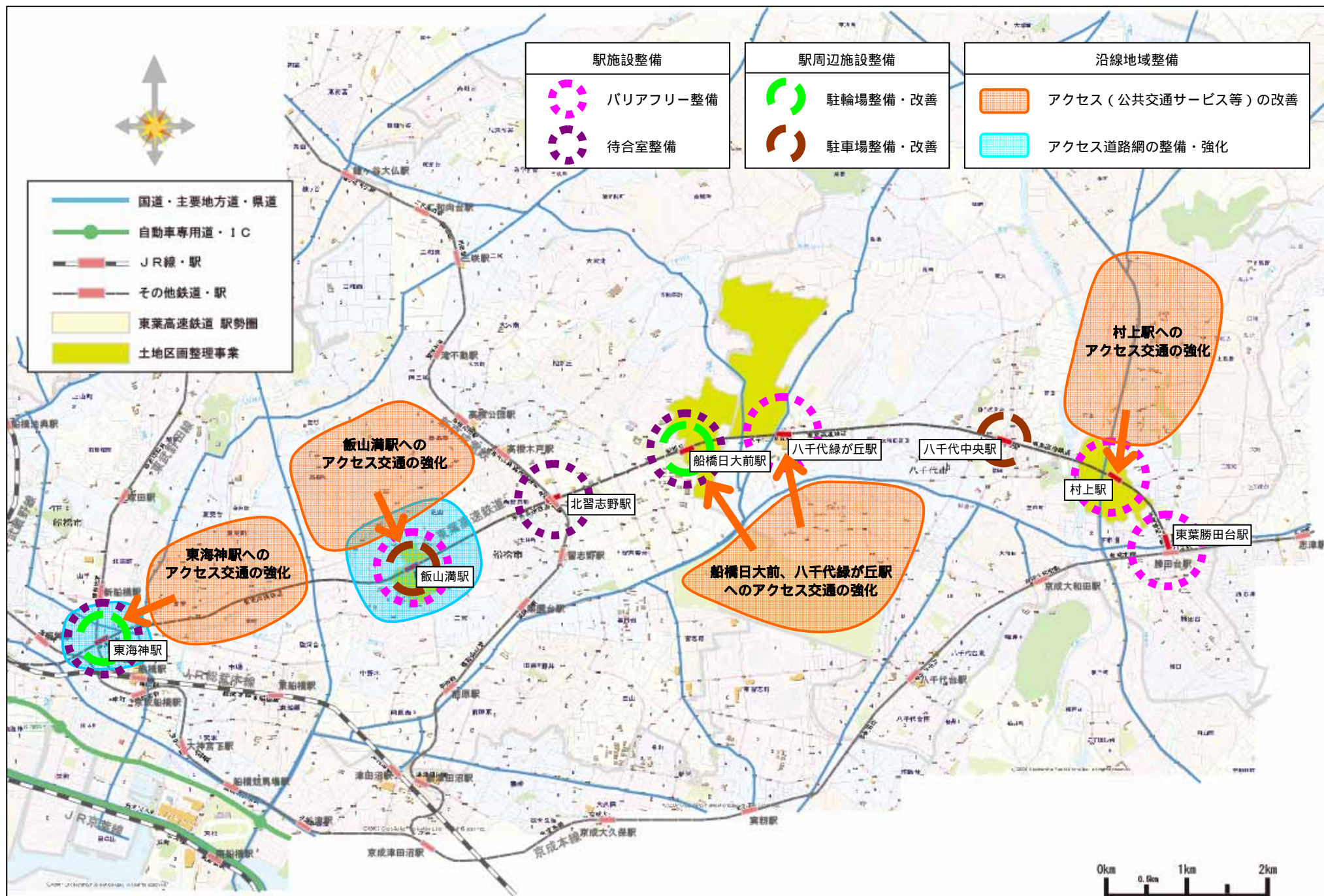


図 5-1 東葉高速線地域の課題